

消防 年報



令和 4 年版

光地区消防組合



まえがき

この消防年報は、光地区消防組合の管轄区域（光市、田布施町、周南市（熊毛地域））における消防現勢及び消防業務の執行に関する諸般の実績を収録し、今後の消防行政に資するとともに、本消防組合の現状を広く紹介するために編集したものです。

令和5年8月

光地区消防組合

この消防年報における周南市は、本消防組合の管轄区域（平成15年4月20日における熊毛町の区域）に限る。

消 防 指 針

1 ニーズに対応せよ

「ニーズに対応せよ」とは
消防の内外を問わず、あらゆる消防業務の要望に対応できる資質・体制を整えることである。

1 スペシャリティに徹せよ

「スペシャリティに徹せよ」とは
我々は消防の専門家であり、創意工夫とプロ意識を持ち、知識・技術の習得、向上に励み、たえず訓練をすることである。

1 セイフティを考えよ

「セイフティを考えよ」とは
職員は、すべてのことに対して安全意識を持ち、士気の高揚を図ることである。

1 シュアに行動せよ

「シュアに行動せよ」とは
消防業務遂行にあたっては、常に協調性を持って確実かつ信頼のおける活動と、何事にも迅速的確に行動することである。

1 ヘルスを維持せよ

「ヘルスを維持せよ」とは
体力・気力の充実が基本であり、平素より自己管理を怠ることなく、明朗闊達かつ健全な精神を保持することである。

何事も至誠をもってあたり、信頼され尊敬され地域に親しまれ愛される消防人を目指そう。

光地区消防組合
平成5年4月1日制定

目次

概 要.....	5
位置と地勢.....	5
消防庁舎の概要.....	6
光地区消防組合の沿革.....	7
管轄内で発生した災害の記録.....	11
総 務 編.....	12
光地区消防組合の組織.....	12
令和5年度当初予算.....	13
当初予算分担金及び負担金の推移.....	13
決算収支の推移.....	13
職員人事.....	14
職員の教育研修状況.....	15
消防音楽隊の概況.....	15
消防応援協定等状況.....	16
予 防 編.....	17
火災予防業務.....	17
防火対象物数.....	17
各種事務処理件数.....	18
中高層建物一覧.....	19
危 険 物.....	20
施設数.....	20
事務処理件数.....	21
仮貯蔵・仮取扱い承認件数.....	22
立入検査件数.....	22
届出件数.....	22
その他.....	23
条例等に基づく各種届出・査察状況.....	23
少年消防クラブ.....	24
幼年消防クラブ.....	24
婦人防火クラブ.....	24
その他の団体.....	24
消 防 編.....	25
火 災.....	25
火災概要（1）.....	25
火災概要（2）.....	26
出火原因別火災件数.....	27
時間別火災発生状況.....	27
救 急.....	28
出動件数.....	28
搬送人員数.....	29

事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員数	30
救急隊員の行った応急処置（１）	31
救急隊員の行った応急処置（２）	32
ドクターヘリ要請件数	33
応急手当の普及啓発活動実施状況	33
救急資機材配備状況（主たる資機材）	33
救 助	34
事故種別出動件数	34
特殊器具配置状況	34
ホース保有状況	36
消火薬剤備蓄状況	36
車両の配備	36
車両の配備（詳細）	37
市町別公設水利設置状況	38
通信指令編	39
災害受理状況	39
有線通信施設	40
無線通信施設	41
無線系統図	41
防災センター編	42
役割	42
月別利用状況	42
利用団体内訳	42

概要

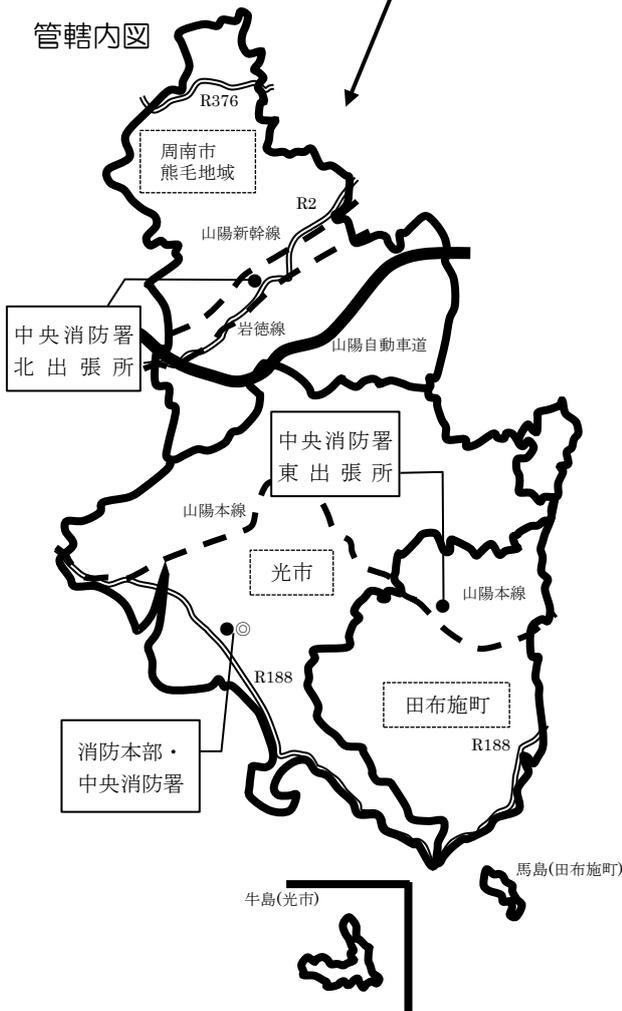
位置と地勢

本消防組合は山口県の南東部に位置する光市、田布施町及び周南市（熊毛地域）の2市1町で構成され、北部はナベヅルが飛来する山間部、中央部は島田川、田布施川を中心に田園地域が広がる平野部、南部は白砂青松の海岸部が広がり、管轄面積は約213k㎡、管轄人口は約7万8千人となっています。

位置図



管轄内図



面積・人口及び世帯数 (令和5年4月1日現在)

区分 市町	面積 (k㎡)	人口 (人)	世帯数 (戸)
光市	92.13	49,233	23,573
田布施町	50.42	14,452	6,948
周南市 (熊毛地域)	70.50	14,411	6,700
合計	213.05	78,096	37,221



八代のナベヅル (周南市)

伊藤公資料館 (光市)



象鼻ヶ岬 (光市)



田布施川桜並木
(田布施町)



消防庁舎の概要

区分	所在地	庁舎の構造	経過
消防本部	〒743-0011 光市光井六丁目 16 番 1 号 TEL 0833-74-5600 FAX 0833-74-5611 (総務課) TEL 0833-74-5601 (予防課) TEL 0833-74-5602 (警防課) TEL 0833-74-5603 (防災センター) (警防課) TEL 0833-74-5606	敷地面積 13,374.86 m ² ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 3 階建 建築面積 2,241.39 m ² 延べ面積 3,298.29 m ²	
中央消防署	(中央消防署) (警防課) TEL 0833-74-5605 (警防課) FAX 0833-74-5614 (中央消防署指令係) TEL 0833-74-5604	○訓練塔 主塔 鉄筋コンクリート造 7 階建 建築面積 28.50 m ² 延べ面積 118.00 m ² 副塔 鉄筋コンクリート造 3 階建 建築面積 144.96 m ² 延べ面積 273.57 m ²	H15. 2. 28 竣工
中央消防署 東出張所	〒742-1503 田布施町大字宿井 1091 番 1 TEL 0820-52-3103 FAX 0820-52-3104	敷地面積 1,042.46 m ² ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造平屋建 建築面積 239.72 m ² 延べ面積 239.72 m ²	S48. 3 竣工 H10. 3 増築
中央消防署 北出張所	〒745-0612 周南市大字呼坂 10009 番 2 TEL 0833-91-0001 FAX 0833-91-0002	敷地面積 1,010.92 m ² ○庁舎棟 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造平屋建 建築面積 306.13 m ² 延べ面積 295.93 m ²	S48. 3 竣工 H4. 11 増築 H10. 12 増築

光地区消防組合の沿革

昭和23年（1948年）3月

1940年代

消防組織法の施行（自治体消防発足）

1950年代

昭和26年（1951年）3月

光市が消防本部を設置（市役所内）

昭和28年（1953年）4月

光市消防署を設置

****（****）6月

光市光井宮元町（現 光市中央四丁目）に消防署を新築

****（****）6月

業務開始（1本部、1署、職員数16名、消防ポンプ自動車1台、自動三輪車1台）

1960年代

昭和36年（1961年）6月

光市光井正門町4番地（現 光市中央五丁目12番1号）に光市消防本部及び光市消防署竣工（延べ面積270㎡）

昭和43年（1968年）10月

救急業務開始（救急自動車1台）

1970年代

昭和47年（1972年）3月

大和町、田布施町及び熊毛町が消防本部・消防署の義務設置の政令指定について自治省へ陳情書提出

****（****）4月

消防本部及び消防署を置かなければならない市町村を定める政令（昭和46年政令第170号）により、大和町、田布施町及び熊毛町が消防本部及び消防署を置かなければならない市町に指定

****（****）6月

光地区消防組合設置許可申請書を山口県知事に提出

****（****）7月

山口県知事許可、光地区消防組合発足（光市、大和町、田布施町及び熊毛町が共同設置）

****（****）12月

城南出張所（現 東消防署 田布施町大字宿井1091番1）及び呼坂出張所（現 北消防署 周南市大字呼坂10009番2）起工

昭和48年（1973年）3月

光地区消防組合業務開始（1本部、1署、2出張所、職員数58名、消防ポンプ自動車3台、水槽付消防ポンプ自動車2台、屈折はしご付消防ポンプ自動車1台、救急自動車4台、その他の車両5台）職員定数81名

****（****）4月

光市光井正門町4番地（現 光市中央五丁目12番1号）に消防本部及び光消防署庁舎竣工

****（****）6月

光消防署に消防ポンプ自動車1台を配備（日本損害保険協会から寄贈）

****（****）7月

光地区アクアラング協力隊が発足（光市防災協会の部会として、アクアラング協会隊員8名、光消防署アクアラング隊員5名で結成）

****（****）7月

光地区消防組合消防本部庁舎開庁式

昭和49年（1974年）8月

職員定数83名に改正

昭和50年（1975年）9月

光消防署に救急自動車1台を配備（日本消防協会から寄贈）

昭和51年（1976年）4月

消防本部に広報車1台を配備

昭和53年（1978年）12月

光消防署に救急自動車1台を配備（山口県生命建物共済農業組合連合会から寄贈）

昭和54年（1979年）4月

職員定数84名に改正

****（****）9月

消防本部に広報車1台を配備

1980年代

昭和56年（1981年）3月

消防本部敷地内に倉庫（鉄骨造、延べ面積83.3㎡）及び非常用発電機室（コンクリートブロック造、延べ面積8.75㎡）竣工

**** (*****)	4月	職員定数85名に改正
**** (*****)	10月	光消防署に消防ポンプ自動車1台を配備
昭和57年 (1982年)	6月	城南出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
**** (*****)	6月	光地区消防音楽隊を設置
**** (*****)	9月	呼坂出張所に救急自動車1台を配備 (日本消防協会から寄贈)
**** (*****)	12月	呼坂出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
昭和58年 (1983年)	10月	光消防署に化学消防ポンプ自動車1台を配備 (日本損害保険協会から寄贈)
**** (*****)	10月	光消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新
昭和59年 (1984年)	3月	光消防署の倉庫を増築 (延べ面積138.69㎡)
**** (*****)	4月	光消防署に水難救助隊を編成
**** (*****)	11月	城南出張所の消防ポンプ自動車1台を更新
昭和60年 (1985年)	1月	光消防署の救急自動車1台を更新
**** (*****)	10月	呼坂出張所の消防ポンプ自動車1台を更新
**** (*****)	11月	消防一斉通報指令装置を導入
昭和61年 (1986年)	11月	光消防署庁舎を増築 (92㎡増築)
昭和62年 (1987年)	2月	城南出張所の救急自動車1台を更新
**** (*****)	11月	光消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を更新
平成元年 (1989年)	3月	光消防署に訓練塔竣工 (5階建、延べ面積94.3㎡)

1990年代

平成2年 (1990年)	2月	光消防署に救急自動車1台を配備 (日本自動車工業会から寄贈)
平成3年 (1991年)	2月	光消防署に救急自動車1台を配備 (山口県生命建物共済農業協同組合から寄贈)
**** (*****)	2月	光消防署にはしご付消防自動車 (30m級) を配備
**** (*****)	4月	職員定数87名に改正
**** (*****)	12月	光消防署に救助工作車を配備
平成4年 (1992年)	2月	光消防署の消防ポンプ自動車1台を更新
**** (*****)	4月	職員定数93名に改正
**** (*****)	6月	城南出張所の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を更新
**** (*****)	7月	予防業務の窓口を一部変更 (城南出張所及び呼坂出張所で予防事務取扱開始)
**** (*****)	9月	衛生通信ネットワーク整備事業完成に伴い防災行政無線の運用開始
**** (*****)	12月	山陽自動車道開通に伴い呼坂出張所に救急車1台を追加配備
平成5年 (1993年)	4月	光地区消防組合消防指針を制定
**** (*****)	9月	消防本部に広報車1台 (防火号) を配備 (日本防火協会寄贈)
**** (*****)	10月	呼坂出張所に水槽付小型動力ポンプ積載車1台を配備
**** (*****)	12月	円滑な消防業務の推進を図るため、大和町、田布施町及び熊毛町からの119番通報を光消防署の通信室に統合し一斉指令装置を整備
平成6年 (1994年)	4月	職員定数97名に改正
平成7年 (1995年)	4月	3消防署体制に組織改編 光消防署を中央消防署に、城南出張所を東消防署に、呼坂出張所を北消防署に変更 消防本部に連絡車1台 (クラウン) を配備、中央消防署に消防ポンプ自動車1台 (CD-1) を配備、東消防署に救急自動車1台を配備、インパルス消火システムその他応急処置資機材・救助資機材を配備
平成8年 (1996年)	4月	職員定数107名に改正
**** (*****)	10月	光地区消防組合職員委員会を設置
**** (*****)	12月	東消防署の消防ポンプ自動車1台を更新、中央消防署の水槽付

平成9年 (1997年)	2月	消防ポンプ自動車1台を更新
**** (*****)	4月	中央消防署に高規格救急自動車1台を配備
**** (*****)	12月	救急救命士の運用を開始
平成10年 (1998年)	2月	管理者が消防本部庁舎の新築移転を表明
**** (*****)	4月	光地区消防組合議会において消防本部庁舎の新築移転に伴う庁舎用地購入の債務負担行為が可決
**** (*****)	4月	組織改正により3部制による勤務体制に変更
**** (*****)	12月	携帯電話からの119番通報受信開始 (県下5ブロック (下関、宇部、山口、徳山、岩国) の代表消防本部に入電する分散受信方式)
**** (*****)	12月	北消防署の消防ポンプ自動車1台を更新
平成11年 (1999年)	2月	中央消防署の化学消防ポンプ自動車 (Ⅱ型) 1台を更新
**** (*****)	4月	F a x 1 1 9 の運用を開始

2000年代

平成12年 (2000年)	12月	北消防署の救急自動車 (2B) 1台を高規格救急自動車に更新
平成13年 (2001年)	3月	消防庁舎建設用地15,368㎡を光市土地開発公社から取得
**** (*****)	4月	職員定数113名に改正
**** (*****)	8月	消防本部に連絡車を配備
**** (*****)	10月	中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車1台を配備 (日本損害保険協会から寄贈)
平成14年 (2002年)	1月	光地区消防組合消防本部庁舎起工
**** (*****)	3月	中央消防署の水槽付消防ポンプ自動車1台を災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成15年 (2003年)	1月	東消防署の救急自動車 (2B) 1台を高規格救急自動車に更新
**** (*****)	2月	光市光井六丁目16番1号に光地区消防組合消防本部庁舎・防災センター竣工、総事業費21億円 (用地取得費含む)
**** (*****)	4月	新庁舎での業務を開始
**** (*****)	4月	周南市発足に伴い光地区消防組合構成市町が2市2町 (光市、大和町、田布施町、周南市) となる
**** (*****)	9月	Eメール119番の運用を開始
平成17年 (2005年)	3月	中央消防署の救急自動車 (2B) 1台を高規格救急自動車に更新
**** (*****)	10月	携帯電話からの119番通報の直接受信開始 (山口県下一斉)
平成18年 (2006年)	9月	防災センター「あんしんねっと光」利用者が2万人を達成
平成19年 (2007年)	3月	中央消防署の高規格救急自動車1台を更新
平成21年 (2009年)	1月	北消防署の高規格救急自動車1台を更新 (日本損害保険協会から寄贈)

2010年代

平成22年 (2010年)	12月	中央消防署の救助工作車1台を更新
平成23年 (2011年)	3月	東北地方太平洋沖地震 (最大震度7) の発生により山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊を宮城県へ派遣 (派遣隊員数5名)
**** (*****)	3月	東消防署の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を更新
**** (*****)	12月	東消防署の高規格救急自動車1台を更新
平成24年 (2012年)	2月	北消防署の水槽付小型動力ポンプ積載車1台を水槽付消防ポンプ自動車に更新
平成25年 (2013年)	3月	中央消防署の消防ポンプ自動車1台 (CD-1) を更新
平成26年 (2014年)	2月	東消防署の消防ポンプ自動車1台 (CD-1) を更新
**** (*****)	8月	広島県で大規模な土砂災害が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊を広島県へ派遣 (派遣隊員数5名)
平成27年 (2015年)	3月	北消防署の消防ポンプ自動車1台 (CD-1) を更新、中央消防署の高規格救急自動車1台を更新

平成28年 (2016年) 4月	アナログ無線を廃止し消防救急デジタル無線の運用を開始
**** (*****) 4月	熊本地震 (最大震度7) の発生により山口県緊急消防援助隊として消火小隊2隊及び後方支援小隊2隊を熊本県へ派遣 (延べ派遣隊員数14名)
**** (*****) 7月	高機能消防指令センター起工
平成29年 (2017年) 3月	高機能消防指令センター竣工
**** (*****) 3月	高機能消防指令センターでの指令業務を開始
**** (*****) 7月	福岡県で豪雨災害 (平成29年7月九州北部豪雨) が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊及び後方支援小隊1隊を派遣 (延べ派遣隊員数35名)
**** (*****) 8月	広島市と消防相互応援協定を締結
平成30年 (2018年) 3月	中央消防署のはしご付消防自動車を屈折はしご付消防自動車に更新、北消防署の高規格救急自動車1台を更新
**** (*****) 7月	広島県で豪雨災害 (平成30年7月豪雨) が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊を派遣 (延べ派遣隊員数20名)

2020年代

令和2年 (2020年) 3月	消防本部に資機材搬送車を配備、中央消防署の消防ポンプ自動車 (CD-1) を小型動力ポンプ積載車に更新
令和 7月	熊本県で豪雨災害 (令和2年7月豪雨) が発生し山口県緊急消防援助隊として消火小隊1隊、後方支援小隊1隊を派遣 (延べ派遣隊員数9名)
令和3年 (2021年) 3月	光東株式会社と災害時におけるレンタル資機材の供給に関する協定を締結
4月	1消防署2出張所体制に組織改編 東消防署を中央消防署東出張所に、北消防署を中央消防署北出張所に変更
	NET119の運用を開始
4月	中央消防署の化学消防車1台を更新
11月	光市内で発見された不発弾 (米国製250kg爆弾) を自衛隊が処理するため、消防本部庁舎内に光市不発弾処理対策本部が設置される
令和4年 (2022年) 2月	中央消防署東出張所の高規格救急自動車1台を更新
4月	職員定数124名に改正
5月	民間事業者 (4者) と火災時における消火用水の確保に関する協定を締結
9月	新型コロナウイルス感染拡大により、山口県が設置した「入院待機施設」へ職員を派遣 (延べ派遣職員数30名)
12月	マイナポータル・ぴったりサービスによる電子申請を開始 (火災予防分野の一部の届出)
令和5年 (2023年) 3月	中央消防署の高規格救急自動車1台を更新

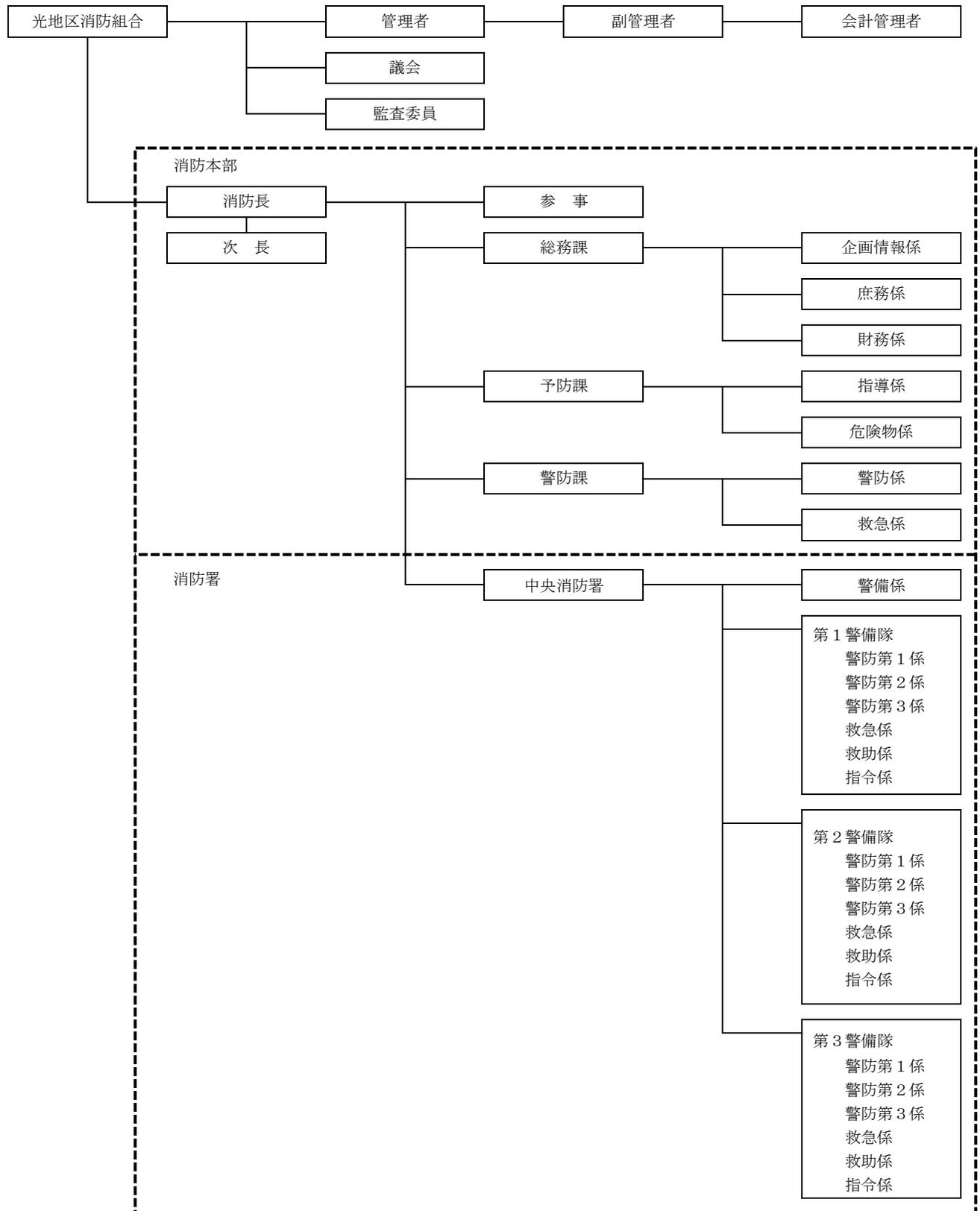
管轄内で発生した災害の記録

年月日	災害種別	災害の概要
昭和 26 年(1951 年) 10 月 14 日	台風災害	ルース台風により、漁船（全損 30 隻、被損 92 隻）、家屋（全壊 56 戸、半壊 95 戸）が被害を受け、10 名が負傷した。また、島田川に架けられていた千歳橋が流出した。
昭和 43 年(1968 年) 4 月 7 日	林野火災	光市室積の千坊山で林野火災が発生し 29 時間延焼し続け 143ha が焼失した。
昭和 55 年(1980 年) 7 月 7 日	大雨災害	豪雨により島田川の堤防が決壊した。水源地から配水池間の送水管が破損し、市内全域が断水した。
平成 3 年(1991 年) 9 月 27 日	台風災害	台風 19 号により防波堤が決壊したことから、191 戸が床上・床下浸水の被害に遭い、211 名の住民が避難した。（最大風速 42m を記録）
平成 4 年(1992 年) 9 月 4 日	労働災害	JR 岩徳線中山トンネル内の酸欠事故により、29 名が負傷した。
平成 5 年(1993 年) 8 月 2 日	大雨災害	山口・九州地方で猛烈な雨が降り、光市で 2 名、大和町で 1 名が死亡した。（日積算降雨量 158.4mm）
平成 10 年(1998 年) 7 月 2 日	建物火災	光市中央で発生した住宅火災により 3 名が死亡し、1 名が負傷した。
平成 16 年(2004 年) 9 月 7 日	台風災害	台風 18 号により、家屋（全壊 1 戸、半壊 2 戸）の被害が発生し、225 世帯 547 名が避難した。（最大風速 45.2m）
平成 17 年(2005 年) 6 月 10 日	爆発事故	生徒が教室に爆発物を投げ込み、56 名の負傷者が発生した。救急車等 11 台の車両が出場し、救急活動にあたった。
平成 30 年(2018 年) 7 月 5 日～7 月 8 日	大雨災害	西日本を中心に猛烈な雨が降り、土砂災害により周南市大字樋口で 1 名が死亡した。そのほか、島田川沿い（光市）などで浸水被害が発生した。

総務編

光地区消防組合の組織

令和5年4月1日現在



令和5年度当初予算

単位：千円

歳入		歳出	
分担金及び負担金	1,207,998	議会費	207
使用料及び手数料	1,000	総務費	831
財産収入	100	消防費	1,286,364
繰入金	43,580	公債費	137,362
繰越金	15,000	予備費	8,236
諸収入	18,822		
組合債	146,500		
合計	1,433,000	合計	1,433,000

当初予算分担金及び負担金の推移

単位：千円

年度	市町			
	光市	田布施町	周南市	合計
令和元年度	686,283	241,975	244,484	1,172,742
令和2年度	694,632	244,947	247,487	1,187,066
令和3年度	687,744	242,491	245,006	1,175,241
令和4年度	717,449	248,249	248,133	1,213,831
令和5年度	714,033	247,041	246,924	1,207,998

決算収支の推移

単位：千円

年度	区分	
	歳入	歳出
平成29年度	1,393,089	1,361,225
平成30年度	1,186,015	1,150,424
令和元年度	1,248,436	1,214,143
令和2年度	1,421,014	1,378,718
令和3年度	1,257,511	1,218,400

職員人事

令和5年4月1日現在 単位：人

区分		階級	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	合 計	う ち 再 任 用	
配 置 状 況	部	消 防 長	1							1	1	
		次 長	(1)							(1)		
		参 事			1						1	
		総 務 課			3	3(1)	4	1	3	14(1)		
		予 防 課			2(1)	1	2			5(1)	1	
		警 防 課			2	2				4		
		派 遣 ・ 研 修			2					2		
		防 災 セ ン タ ー			(1)					(1)		
	中 央 消 防 署			9(7)	19(7)	18	2	10	58(14)			
	中 央 消 防 署 東 出 張 所			2(2)	6(1)	6	1	1	16(3)			
	中 央 消 防 署 北 出 張 所			1(1)	8(2)	5	1	1	16(3)			
合 計		1(1)		22(12)	39(11)	35	5	15	117(24)	2		
年 齢 構 成	20 歳 未 満							2	2			
	20 歳 以 上 25 歳 未 満							10	10			
	25 歳 以 上 30 歳 未 満					7	3	3	13			
	30 歳 以 上 35 歳 未 満				2	16	2		20			
	35 歳 以 上 40 歳 未 満				9	10			19			
	40 歳 以 上 45 歳 未 満			2	12	2			16			
	45 歳 以 上 50 歳 未 満			13	11				24			
	50 歳 以 上 55 歳 未 満			4	5				9			
	55 歳 以 上 60 歳 未 満			2					2			
	60 歳 以 上	1		1					2	2		
合 計	1		22	39	35	5	15	117	2			
勤 続 年 数	5 年 未 満			1	1			11	13			
	5 年 以 上 10 年 未 満				9	3	4	16	16			
	10 年 以 上 15 年 未 満			4	16	2		22	22			
	15 年 以 上 20 年 未 満			7	7			14	14			
	20 年 以 上 25 年 未 満			4	11	2		17	17			
	25 年 以 上 30 年 未 満			11	9			20	20			
	30 年 以 上 35 年 未 満			5	7			12	12			
	35 年 以 上 40 年 未 満			2				2	2	1		
	40 年 以 上	1						1	1	1		
	合 計	1		22	39	35	5	15	117	2		

※ () は兼務の人数

職員の教育研修状況

単位：人

教育研修区分 年度	山口県消防学校								消防大学校					救急救命士研修					
	初任 総合 教育	専科教育			特別教育		幹部教育		大規模 災害 対策 科	専科教育					気管 挿管 認定 実習	薬剤 投与 追加 講習	処置 拡大 追加 講習	救急 救命 士新 規養 成研 修	指導 救命 士養 成研 修
		救 助 科	火 災 調 査 科	予 防 査 察 科	消 防 団 指 導 科	水 難 救 助 科	初 級 幹 部 科	中 級 幹 部 科		上 級 幹 部 科	予 防 科	火 災 調 査 科	警 防 科	危 機 管 理 教 育 科					
平成25年度	2	1	1	1			2	1		1				2			1		
平成26年度	5	1	1	1		1		1				1		2		4	1		
平成27年度	4	1	1	1		1	1	1						1		9	1		
平成28年度	3	1	1	1		1		1	1	1				2		8	1		
平成29年度	4	1	1	1	1	1	1	1						1		3		1	
平成30年度	2	1	1	1	1	1		1	1					1			1		
令和元年度	1	1	1	1	1	1	1	1					1					1	
令和2年度	2	1	1														1		
令和3年度	3	1		1		1	1							1					
令和4年度	2	1	1	1	1	1		1	1					1					

消防音楽隊の概況

令和5年4月1日現在 単位：人

結 成	昭和57年6月18日				
隊員編成	隊 長	1	楽 長	1	
	副 隊 長	1	隊 員	21	
楽器編成	クラリネット	4	サクソ	5	ユーホニウム 1
	ホルン	3	トランペット	3	パーカッション 3
	トロンボーン	3	チューバ	1	
主な活動	消防出初式、県消防学校卒業式、各種の地域イベント など				

消防応援協定等状況

令和5年4月1日現在

協定等の名称	締結機関	締結年月日	協定概要
火災調査等にかかる消防相互応援協定	県内3市及び2消防組合	平成15年4月21日 (改正)	大規模災害時の火災調査等の相互応援
災害時における相互協力に関する覚書	光警察署	平成23年8月1日	庁舎使用、情報共有及び災害活動の相互協力
災害時における協力に関する協定	光市	平成24年2月1日	庁舎使用の協力
山口県内広域消防相互応援協定	県内19市町及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	消防組織法第39条の規定に基づく相互応援
山口県消防防災ヘリコプター応援協定	県内19市町及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	消防防災ヘリコプターによる応援
「母体・新生児救急搬送マニュアル」に係る救急業務相互応援協定	県内8市及び4消防組合	平成24年4月1日 (改正)	母体・新生児搬送等に係る相互応援
中国自動車道及び山陽自動車道における消防相互応援協定	県内10市及び3消防組合	平成24年4月1日 (改正)	中国自動車道及び山陽自動車道における相互応援
鉄道災害時の安全対策に関する覚書	県内12消防本部及び西日本旅客鉄道株式会社	平成24年6月29日	鉄道災害時の安全対策等の相互協力
広島市及び光地区消防組合消防相互応援協定	広島市	平成29年8月28日	消防組織法第39条の規定に基づく相互応援
光地区消防組合と徳山海上保安部との業務協定	徳山海上保安部	令和2年3月1日 (改正)	船舶火災等における相互協力
災害時におけるレンタル資機材の供給に関する協定	光東株式会社	令和3年3月26日	レンタル資機材の供給協力
火災時における消火用水の確保に関する協定	株式会社ファノス、光環境整備株式会社、熊谷興業株式会社、株式会社エコミックス田布施工場	令和4年5月26日	消火用水の給水支援

予 防 編

火災予防業務

防火対象物数

令和5年4月1日現在 単位：棟

防火対象物の区分		市町	150㎡以上の防火対象物 (17項は150㎡未満を含む)				防火管理者を必要とする防火対象物			
			光市	田布施町	周南市	合計	光市	田布施町	周南市	合計
1	イ	劇場等	1			1				
	ロ	公会堂等	37	9	11	57	42	8	12	62
2	イ	キャバレー等	1			1	1			1
	ロ	遊技場等	2		1	3	2		1	3
	ハ	性風俗特殊営業店舗等								
3	イ	料理店等								
	ロ	飲食店	21	5	3	29	27	5	3	35
4		百貨店等	76	15	10	101	52	12	8	72
5	イ	旅館等	9	1	4	14	5	1	2	8
	ロ	共同住宅等	454	71	24	549	38	3	4	45
6	イ	病院等	28	4	2	34	13	2		15
	ロ	特別養護老人ホーム等	34	10	15	59	31	6	11	48
	ハ	老人デイサービスセンター等	41	13	12	66	23	7	8	38
	ニ	幼稚園等	4	11	5	20	3	4	3	10
7		学校	70	27	20	117	18	6	6	30
8		図書館等	3	2	1	6	3	2		5
9	イ	特殊浴場		1		1		1		1
	ロ	一般浴場	1		1	2	1		1	2
10		停車場等	2	1		3				
11		神社・寺院等	47	37	10	94	11	9	4	24
12	イ	工場等	196	106	49	351	14	6	1	21
	ロ	スタジオ								
13	イ	駐車場等	14	5	5	24				
	ロ	航空機格納庫								
14		倉庫	129	79	29	237				
15		事務所等	287	69	41	397	31	9	4	44
16	イ	特定複合用途防火対象物	133	32	21	186	53	15	9	77
	ロ	非特定複合用途防火対象物	92	16	11	119	5			5
16の2		地下街								
17		文化財	4	1	3	8				
18		アーケード								
合計			1,686	515	278	2,479	373	96	77	546

各種事務処理件数

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：件

防火対象物の区分		同意・査察等				査 察				防 火 指 導				
		市 町												
		光 市	田 布施 町	周 南市	合 計	光 市	田 布施 町	周 南市	合 計	光 市	田 布施 町	周 南市	合 計	
1	イ	劇場等												
	ロ	公会堂等		1	1	24	10	14	48	2	1		3	
2	イ	キャバレー等				1			1					
	ロ	遊技場等				2		2	4					
	ハ	性風俗特殊営業店舗等												
	ニ	カラオケボックス等				1			1					
3	イ	料理店等												
	ロ	飲食店		1	1	43	21	7	71	2			2	
4		百貨店等	6	1	7	2			2					
5	イ	旅館等								1			1	
	ロ	共同住宅等	2	3	5	211	26	18	255	1	1		2	
6	イ	病院等	1		1					4			4	
	ロ	特別養護老人ホーム等	1		3	4				2	1	2	5	
	ハ	老人デイサービスセンター等						1	1	5	2	5	12	
	ニ	幼稚園等								6	3	1	10	
7		学校								10	4	5	19	
8		図書館等								2			2	
9	イ	特殊浴場												
	ロ	一般浴場										1	1	
10		停車場等												
11		神社・寺院等												
12	イ	工場等	4	2	6	3		4	7	4	1		5	
	ロ	スタジオ												
13	イ	駐車場等		2	2									
	ロ	航空機格納庫												
14		倉庫	4	4	1	9	1		1					
15		事務所等	10	2	5	17	3	2	5	2		3	5	
16	イ	特定複合用途防火対象物	1	2		3	32	8	4	44	4		4	
	ロ	非特定複合用途防火対象物	3			3								
16の2		地下街												
17		文化財												
18		アーケード												
合 計			32	18	9	59	323	65	52	440	45	13	17	75

中高層建物一覧

令和5年4月1日現在 単位：棟

防火対象物の区分		階数		4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階以上
		4 階	5 階	6 階	7 階	8 階	9 階	10 階	11 階以上		
1	イ	劇場等									
	ロ	公会堂等									
2	イ	キャバレー等									
	ロ	遊技場等									
	ハ	性風俗特殊営業店舗等									
	ニ	カラオケボックス等									
3	イ	料理店等									
	ロ	飲食店									
4		百貨店等									
5	イ	旅館等	2	2	1	1					
	ロ	共同住宅等	48	13	2	3				3	3
6	イ	病院等	3	2	1			1			
	ロ	特別養護老人ホーム等		1	1						
	ハ	老人デイサービスセンター等			1						
	ニ	幼稚園等	1								
7		学校	7	1							
8		図書館等									
9	イ	特殊浴場									
	ロ	一般浴場									
10		停車場等									
11		神社・寺院等	3	1				1			
12	イ	工場等	2	1	1	1					
	ロ	スタジオ									
13	イ	駐車場等									
	ロ	航空機格納庫									
14		倉庫									
15		事務所等	1	4	1	1					
16	イ	特定複合用途防火対象物	5		1						
	ロ	非特定複合用途防火対象物	2	1							
17		文化財									
合 計			74	26	9	6	2			3	3
市	光 市		54	23	8	5	1			3	3
	田布施町		10	3		1	1				
	周南市		10		1						
町	合 計		74	26	9	6	2			3	3

危険物

施設数

令和5年4月1日現在 単位：施設

危険物の類	製造所等別	製造所	貯蔵所						取扱所		合計		
			屋内	屋外	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油		一般	
第1類													
第2類													
第3類			1									1	
第4類	1		39	13	62	2	29	1	27	43	66	283	
第5類			2									2	
第6類													
混在		2	5								5	12	
合計		3	47	13	62	2	29	1	27	43	71	298	
市町	光市	第1類											
		第2類											
		第3類		1									1
		第4類	1	25	9	54		16		10	29	46	190
		第5類		1									1
		第6類											
		混在		1								5	6
		合計	1	28	9	54		16		10	29	51	198
	田布施町	第1類											
		第2類											
		第3類											
		第4類		11	4	5	1	12		17	9	18	77
		第5類		1									1
		第6類											
		混在	2	4									6
		合計	2	16	4	5	1	12		17	9	18	84
	周南市	第1類											
		第2類											
		第3類											
		第4類		3		3	1	1	1		5	2	16
		第5類											
		第6類											
		混在											
		合計		3		3	1	1	1		5	2	16

※「混在」とは、類を異にする危険物を貯蔵し、又は取扱っているものをいう。

事務処理件数

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：件

区分		製造所等別		製造所	貯蔵所					取扱所		合計			
					屋内	屋外	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク		給油	一般	
許可	設置	光市			1					1			3		
		田布施町									2		2		
		周南市													
		合計			1			1		3			5		
	変更	光市			1		2					4	41	48	
		田布施町	1		3							1	8	13	
		周南市			1							3		4	
		合計			4		2					8	49	65	
	完成	設置	光市			1								2	
			田布施町										2		2
			周南市												
			合計			1						3			4
変更		光市			1		2					4	31	38	
		田布施町	1		3							1	8	13	
		周南市			1							3		4	
		合計	1		5		2					8	39	55	
仮使用承認		光市			1							4	40	45	
		田布施町	1		3							1	8	13	
		周南市			1							3		4	
		合計	1		5							8	48	62	
完成検査前検査	水張	光市													
		田布施町													
		周南市													
		管轄外	2										4	6	
	合計	2										4	6		
	水圧	光市													
		田布施町													
		周南市													
		管轄外	4										3	7	
	合計	4										3	7		
廃止	光市											1	1		
	田布施町														
	周南市							1					1		
	合計							1				1	2		

※完成検査前検査の「管轄外」は、他の市町村に設置する液体危険物タンクに対する検査をいう。

仮貯蔵・仮取扱い承認件数

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：件

市町	区分	仮貯蔵	仮取扱い	合計
光市		1	19	20
田布施町				
周南市				
合計		1	19	20

立入検査件数

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：施設

市町	製造所等別	製造所	貯蔵所						取扱所		合計	
			屋内	屋外	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	給油		一般
光市			12	5	21		2		5	27	8	80
田布施町			4		2		3		5	12	8	34
周南市			1		1	1	1	1		3	1	9
合計			17	5	24	1	6	1	10	42	17	123

届出件数

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：件

区分	市町	光市	田布施町	周南市	合計
品名数量倍数変更届		16	10		26
危険物保安監督者選解任届		28	2	1	31
予防規程認可申請		6	7		13
名称等変更届		9	4		13
設備変更届		108	29	3	140
製造所休止・再開届		1			1
事故発生届					

その他

条例等に基づく各種届出・査察状況

令和4年4月1日～令和5年3月31日 単位：件

種別	届出・査察 市町	届 出				査 察			
		光 市	田布施町	周南市	合 計	光 市	田布施町	周南市	合 計
圧縮	圧縮アセチレンガス	4	3		7		2		2
	液化石油ガス	15	3	1	19		2	1	3
アガ	生 石 灰								
セス	毒 物	4			4				
チ等	劇 物	1	2		3		1		1
指定可燃物等	可燃性固体類								
	石灰・木炭等								
	可燃性液体類								
	合成樹脂類								
	その他								
少危険量物	施 設	17	2	1	20	12	1		13
	移動タンク	2		2	4	2		1	3
	炉								
	温風暖房機								
	ボ イ ラ ー	2	1	1	4	2	1	1	4
	給湯湯沸設備	5	1	3	9	5	1	3	9
	乾 燥 設 備	3	1		4	3	1		4
	サ ウ ナ 設 備	1			1	1			1
	変 電 設 備	13	13	5	31	14	11	5	30
	発 電 設 備	5			5	5			5
	蓄 電 池 設 備	5		1	6	5		1	6
	ネ オ ン 管 灯 設 備								
	厨 房 設 備								

少年消防クラブ

令和5年4月1日現在 設立順

市 町	団 体 名	設 立	クラブ員数
光 市	塩田小学校少年消防クラブ	昭和56年6月4日	8人
光 市	東荷小学校少年消防クラブ	昭和56年6月21日	5人

幼年消防クラブ

令和5年4月1日現在 設立順

市 町	団 体 名	設 立	クラブ員数
周南市	明照幼稚園幼年消防クラブ	昭和60年5月1日	19人
光 市	虹ヶ丘幼児学園幼年消防クラブ	昭和60年11月26日	118人
周南市	ひまわり保育園幼年消防クラブ	昭和61年12月7日	65人
田布施町	たぶせ保育園幼年消防クラブ	昭和62年11月24日	118人
周南市	大河内幼稚園幼年消防クラブ	昭和63年5月29日	82人
光 市	東荷幼稚園幼年消防クラブ	平成2年4月10日	3人
光 市	野原保育園幼年消防クラブ	平成3年11月25日	41人
光 市	三輪幼稚園幼年消防クラブ	平成4年4月1日	24人

婦人防火クラブ

令和5年4月1日現在

市 町	団 体 名	設 立	クラブ員数
周南市	明照婦人防火クラブ	平成7年2月1日	19人

その他の団体

令和5年4月1日現在

団 体 名	設 立	加盟数
光地区防災協会	昭和50年5月21日	258

消 防 編

火 災

令和4年中の火災件数は49件で、前年と比較すると6件増加しています。火災種別で見ると、建物火災15件（1件増）、林野火災4件（増減なし）、車両火災2件（2件減）、その他の火災28件（7件増）となっています。

なお、損害額は、全体で76,005千円となっており、このうち、建物火災によるものが74,849千円で全体の約98%を占めています。

※その他の火災とは、火災種別が建物、林野、車両、船舶又は航空機に区分されない火災をいう。

火災概要（1）

令和4年中

火災件数等 区分		火災件数					焼損棟数					焼損面積	
		建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	建物床 (㎡)	林野 (a)
月	1月				5	5							
	2月	5		1		6	5	1	8	1	15	450	
	3月	1	1		1	3	1	1			2	64	6
	4月	1	2		3	6	1				1	305	4
	5月			1	2	3							
	6月				5	5							
	7月	1				1	1		1		2	106	
	8月	1			1	2				1	1		
	9月	1			1	2	1				1	300	
	10月				6	6							
	11月	1	1		3	5	1		3		4	88	7
	12月	4			1	5	1			3	4	70	
	合 計	15	4	2	28	49	11	2	12	5	30	1,383	17
市 町	光 市	10	1	1	13	25	9	1	11	3	24	923	6
	田布施町	2	2		5	9	2		1		3	433	4
	周南市	3	1	1	10	15		1		2	3	27	7
	合 計	15	4	2	28	49	11	2	12	5	30	1,383	17
年	平成29年	7	1	2	6	16	2	2	1	3	8	139	7
	平成30年	8	8	2	11	29	2	1	5	2	10	124	19
	令和元年	9	6	1	19	35	4	2	3	5	14	407	55
	令和2年	11	3		17	31	10	1	6	3	20	655	3
	令和3年	14	4	4	21	43	5	2	6	7	20	655	3

火災概要（２）

令和４年中

死傷者等 区分		死 者	負 傷 者	り 災 人 員	り災世帯数				損害額（千円）				
					全 損	半 損	小 損	合 計	建 物	林 野	車 両	そ の 他	合 計
月	1月											4	4
	2月	1		26	6	1	6	13	21,247		708		21,955
	3月											145	145
	4月			3	1			1	779				779
	5月										90		90
	6月											9	9
	7月			4			1	1	1,595				1,595
	8月			1			1	1	11				11
	9月			2	1			1	10,313			200	10,513
	10月												
	11月		1	8	1		3	4	14,125				14,125
	12月			3			2	2	26,779				26,779
	合 計	1	1	47	9	1	13	23	74,849		798	358	76,005
市 町	光 市	1	1	38	7		11	18	51,941		708	213	52,862
	田布施町			6	2		1	3	14,121				14,121
	周南市			3			1	1	8,932		90		9,022
	合 計	1	1	47	9		13	22	74,994		798	213	76,005
	平成29年		3	12	1	1	3	5	19,826		562		20,388
	平成30年	1	1	23			1	7	11,554		920	30	12,504
	令和元年	2	3	19	4		6	10	64,851		271	18	65,140
	令和2年	1	4	37	3	1	10	14	45,725	284		35	46,044
令和3年	1	5	21	4	1	5	10	72,942	197	131	76	73,346	

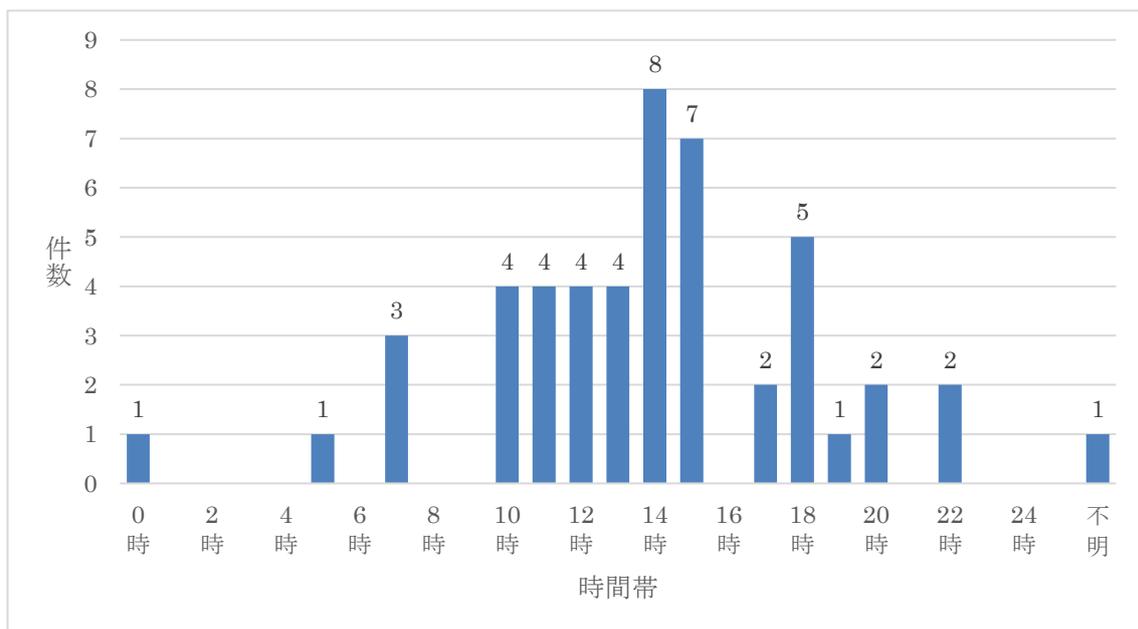
出火原因別火災件数

令和4年中 単位：件

出火原因 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	その他	合 計
たばこ				1	1
ストーブ	2				2
電灯・電話等の配線	1			2	3
配線器具	1				1
火遊び				1	1
たき火		3		16	19
灯火	1				1
取灰		1			1
火入れ				1	1
放火の疑い				1	1
その他	9		1	6	16
不明	1		1		2
合 計	15	4	2	28	49

時間別火災発生状況

令和4年中



救 急

令和4年中の出動件数は4,215件で、前年から379件(9.9%)増加し、過去最多となっています。

搬送人員数は3,812人で、前年から304人(9.2%)増加し、傷病程度別で見ると、入院を必要としない軽症が1,903人(49.9%)で約半数を占めています。

出動件数

令和4年中 単位：件

区分	種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
												転搬院送	医搬師送	資等機輸材送	その他	
曜日	月				26	13	3	91		5	411	89			2	640
	火				28	8	4	71		6	375	71			1	564
	水	2			21	15	6	60	3	1	373	64			1	546
	木				31	12	2	101	1	4	424	59			1	635
	金				31	8	4	97	2	6	378	91			1	618
	土			1	32	8	7	95	1	3	418	50			4	619
	日				25	2	5	101	3	4	428	22			3	593
	合計	2		1	194	66	31	616	10	29	2,807	446			13	4,215
月	1月				15	2	5	37	1		237	33			1	331
	2月	1		1	15	1		43		1	206	34			1	303
	3月				19	5		46	2		218	39				329
	4月				16	4	4	69	3	3	176	32			1	308
	5月				11	5	3	48		3	198	37			1	306
	6月				10	8	1	52		1	229	32				333
	7月				13	7	8	54		2	263	31			2	380
	8月				13	9	2	57	1	5	264	38			1	390
	9月				13	10	4	47		2	236	37				349
	10月				26	8	3	58	2	4	206	37			4	348
	11月	1			23	3		49		4	240	46			1	367
	12月				20	4	1	56	1	4	334	50			1	471
	合計	2		1	194	66	31	616	10	29	2,807	446			13	4,215
市町	光市	2		1	124	51	23	411	8	15	1,784	420			12	2,851
	田布施町				25	8	5	87		5	446	10			1	587
	周南市				42	7	3	117	2	9	575	16				771
	管轄外				3			1			2					6
	合計	2		1	194	66	31	616	10	29	2,807	446			13	4,215
中央消防署	2		1	111	44	25	354	7	16	1,582	376			11	2,529	
中央消防署東出張所				34	7	3	142	1	5	639	50			2	883	
中央消防署北出張所				49	15	3	120	2	8	586	20				803	
	合計	2		1	194	66	31	616	10	29	2,807	446			13	4,215
年	平成29年	3			284	59	30	586	6	18	2,573	437			25	4,021
	平成30年	3	4	2	213	69	32	557	9	18	2,699	455			13	4,094
	令和元年	4		4	220	59	32	616	11	19	2,682	380			9	4,036
	令和2年	6		1	209	55	15	623	3	25	2,367	412			9	3,725
	令和3年	6		1	199	54	34	569	11	16	2,468	457	1		20	3,836

搬送人員数

令和4年中 単位：人

区分		種別	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
曜日	月				25	12	3	79		3	371	89	582	
	火				27	8	4	62		4	329	71	505	
	水	1			21	14	6	56	1	1	334	63	497	
	木				30	12	2	88		3	386	60	581	
	金				32	7	4	87	2	6	340	91	569	
	土				33	7	7	90	1	2	363	50	553	
	日				25	1	5	88	2	4	378	22	525	
	合計	1			193	61	31	550	6	23	2,501	446	3,812	
月	1月				14	2	5	32	1		211	33	298	
	2月				17	1		42		1	186	34	281	
	3月				20	5		42			195	39	301	
	4月				12	4	4	61	3	3	155	32	274	
	5月				10	5	3	41		1	169	37	266	
	6月				11	8	1	47		1	214	32	314	
	7月				13	7	8	51		2	242	31	354	
	8月				11	8	2	51	1	4	232	38	347	
	9月				12	8	4	44		1	218	36	323	
	10月				24	6	3	51	1	2	175	38	300	
	11月	1			26	3		38		4	217	46	335	
	12月				23	4	1	50		4	287	50	419	
	合計	1			193	61	31	550	6	23	2,501	446	3,812	
市町	光市	1			124	46	23	363	5	12	1,600	420	2,594	
	田布施町				27	8	5	76		5	391	10	522	
	周南市				40	7	3	110	1	6	508	16	691	
	管轄外				2			1			2		5	
	合計	1			193	61	31	550	6	23	2,501	446	3,812	
中央消防署		1			110	40	25	311	4	12	1,417	377	2,297	
中央消防署東出張所					33	6	3	127	1	5	562	49	786	
中央消防署北出張所					50	15	3	112	1	6	522	20	729	
合計		1			193	61	31	550	6	23	2,501	446	3,812	
年	平成29年	2			263	56	30	562	5	12	2,392	435	3,757	
	平成30年		5	1	205	66	32	539	4	11	2,471	456	3,790	
	令和元年	2		2	219	56	32	570	7	11	2,388	380	3,667	
	令和2年	5		1	207	55	15	583	3	15	2,176	412	3,472	
	令和3年	6		1	201	54	35	539	10	9	2,197	456	3,508	

事故種別年齢区分別傷病程度別搬送人員数

令和4年中 単位：人

年齢区分・程度	種別	火	自然	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	合
		災	災	難	通	働	動	般	害	損	病	の	計
		災	害	難	事	災	競	負		行		他	
新生児	死 亡												
	重 症											4	4
	中等症										1	19	20
	軽 症												
	その他												
	計										1	23	24
乳幼児	死 亡												
	重 症												
	中等症							3			9	3	15
	軽 症				5			20			64		89
	その他												
	計				5			23			73	3	104
少年	死 亡												
	重 症											1	1
	中等症				1		5	1	1		4	4	16
	軽 症				10		21	7	1		30		69
	その他												
	計				11		26	8	2		34	5	86
成人	死 亡					1				3	2		6
	重 症				1	2		1			8	5	17
	中等症				14	9	1	11		7	138	92	272
	軽 症				104	42	3	57	3	7	287	2	505
	その他												
	計				119	54	4	69	3	17	435	99	800
高齢者	死 亡				1			1		2	64		68
	重 症				2			22			81	14	119
	中等症				7	2		177	1	3	890	291	1,371
	軽 症	1			48	5	1	250		1	923	11	1,240
	その他												
	計	1			58	7	1	450	1	6	1,958	316	2,798
合 計	死 亡				1	1		1		5	66		74
	重 症				3	2		23			89	24	141
	中等症				22	11	6	192	2	10	1,042	409	1,694
	軽 症	1			167	47	25	334	4	8	1,304	13	1,903
	その他												
	計	1			193	61	31	550	6	23	2,501	446	3,812

※傷病程度は、次のとおり。(以下同じ。)

- 1 死 亡:初診時において死亡が確認されたもの。
 - 2 重 症:傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
 - 3 中等症:傷病程度が重症または軽症以外のもの。
 - 4 軽 症:傷病程度が入院加療を必要としないもの。
 - 5 その他:医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの。
- なお、傷病程度は入院加療の必要程度を基準に区分しているため、骨折等で入院の必要はないが、通院による治療が必要な者は軽症として分類されている。

※年齢区分は、次のとおり。(以下同じ。)

- 1 新生児:生後28日未満の者
- 2 乳幼児:生後28日以上満1歳未満の者
- 3 少 年:満7歳以上満18歳未満の者
- 4 成 人:満18歳以上満65歳未満の者
- 5 高齢者:満65歳以上の者

救急隊員の行った応急処置（１）

令和４年中の搬送人員数 3,812 人のうち、3,805 人（99.8%）に対して救急隊が応急処置を実施しました。

令和４年中 単位：人

種別・程度		応急処置項目										
		対象者	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生	酸素吸入	気道確保	保温	被覆	除細動
急病	死亡	66					66	66	66			2
	重症	89	1	2	10		36	67	51	3	1	3
	中等症	1,041	1	1	4			329	22	34	5	
	軽症	1,303	4	2				68	2	17	3	
	その他											
	計	2,499	6	5	14		102	530	141	54	9	5
交通事故	死亡	1		1			1	1	1			
	重症	3		3	2			3	2		1	
	中等症	22	3	11				6		1	7	
	軽症	167	6	48						1	33	
	その他											
	計	193	9	63	2		1	10	3	2	41	
一般負傷	死亡	1					1	1	1			
	重症	23	2	3	2		4	5	5		2	
	中等症	192	11	14				14	1		19	
	軽症	330	33	9				5		1	97	
	その他											
	計	546	46	26	2		5	25	7	1	118	
上記以外	死亡	6		1	1		6	6	6			
	重症	26	2	1	1			12			2	
	中等症	437	3	10				137	2	4	3	
	軽症	98	14	4				4			27	
	その他											
	計	567	19	16	2		6	159	8	4	32	
合計	死亡	74		2	1		74	74	74			2
	重症	141	5	9	15		40	87	58	3	6	3
	中等症	1,692	18	36	4			486	25	39	34	
	軽症	1,898	57	63				77	2	19	160	
	その他											
	計	3,805	80	110	20		114	724	159	61	200	5

救急隊員の行った応急処置（２）

令和４年中 単位：人

応急処置 種別 ・程度	項目	薬 剤 投 与	血 圧 測 定	聴 診	血 中 酸 素 濃 度 測 定	心 電 図	静脈路確保		血 糖 測 定	ブ ド ウ 糖 投 与	左 記 外	全 急 置 計
							心 肺 停 止 前	心 肺 停 止 後				
急 病	死 亡	14	4	23	3	66		16			65	391
	重 症	8	65	31	65	83	4	8	7	1	75	521
	中等症		1,019	383	1,035	692	12		41	10	479	4,067
	軽 症		1,258	285	1,298	713	3		19	3	635	4,310
	その他											
	計	22	2,346	722	2,401	1,554	19	24	67	14	1,254	9,289
交 通 事 故	死 亡					1					1	6
	重 症		3	3	3	3					3	26
	中等症		22	12	22	7					16	107
	軽 症		165	46	167	16					83	565
	その他											
	計		190	61	192	27					103	704
一 般 負 傷	死 亡					1					1	5
	重 症	2	22	5	21	8		2			8	91
	中等症		190	21	192	42			1		68	573
	軽 症		317	44	328	71					179	1,084
	その他											
	計	2	529	70	541	122		2	1		256	1,753
上 記 以 外	死 亡	2		4		5		2			6	39
	重 症		22	1	26	13	1				4	85
	中等症		415	65	434	183			1		88	1,345
	軽 症		96	7	98	20			1		39	310
	その他											
	計	2	533	77	558	221	1	2	2		137	1,779
合 計	死 亡	16	4	27	3	73		18			73	441
	重 症	10	112	40	115	107	5	10	7	1	90	723
	中等症		1,646	481	1,683	924	12		43	10	651	6,092
	軽 症		1,836	382	1,891	820	3		20	3	936	6,269
	その他											
	計	26	3,598	930	3,692	1,924	20	28	70	14	1,750	13,525

ドクターヘリ要請件数

令和4年中は、ドクターヘリの出動を要請した事案はありませんでした。

年・区分		発生場所	光 市	田布施町	周 南 市	合計
令和2年	要請件数(件)		4	1		5
	搬送人員数(人)		4	1		5
令和3年	要請件数(件)		1	2		3
	搬送人員数(人)					
令和4年	要請件数(件)					
	搬送人員数(人)					

応急手当の普及啓発活動実施状況

令和4年中は、簡易救急講習 651 人、普通救命講習 176 人の計 827 人に対して応急手当に関する講習を行いました。

区分	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
簡易救急講習				15	24	64	225	188	18	48		58	11	651
普通救命講習					8	9	56	19		36	4	37	7	176
合 計				15	32	73	281	207	18	84	4	95	18	827

救急資機材配備状況（主たる資機材）

令和5年4月1日現在 単位：式

資機材名	配備先	中央消防署			合計
		中央消防署 東出張所	中央消防署 北出張所		
自動体外式除細動器(AED)		4	2	2	8
患者監視装置		3	1	1	5
自動式人工呼吸器		3	1	1	5
自動式胸骨圧迫器		3	1	1	5
携帯吸引器		3	1	1	5
携帯用血圧計		6	2	2	10
携帯用血中酸素飽和度測定器		3	1	1	5
携帯用呼気二酸化炭素測定器具		3	1	1	5
バックボード		5	2	2	9
スクープストレッチャー		5	1	2	8

救 助

令和4年中の救助出動件数は21件で、前年と比較すると7件減少しました。

事故種別では、交通事故による出動が最も多く、次いでその他の事故（転落事故等）となっています。

事故種別出動件数

令和4年中 単位：件

種別 市町・年		火災	交通 事故	水難 事故	自然災 害事故	機械 事故	建築物 等によ る事故	ガス及 び酸欠 事 故	破裂 事故	その他	合 計
		市 町	光 市		8	2					
田布施町			1			1				1	3
周南市			5								5
管轄外											
合 計			14	2		1				4	21
年	平成29年		29			2	1			8	40
	平成30年		20	1	11	1			1	5	39
	令和元年		23	4		5				8	40
	令和2年		31	1		1	1	1		8	43
	令和3年		17	1		1		1		8	28

特殊器具配置状況

令和5年4月1日現在 単位：式

器具		配置先	消防本部	中央消防署	中央消防署 東出張所	中央消防署 北出張所	合 計
		一 般 救 助 器 具	カギ付はしご			5	1
金属性折りたたみはしご				1			1
救命索発射銃				1			1
平担架				2			2
三連梯子				6	1	1	8
空気式救助マット				1			1
サバイバースリング・救助用縛帯				6	1	1	8
重 量 物 排 除 用 器 具	油圧ジャッキ			2	1		3
	可搬式ウインチ			3	1	1	5
	大型油圧スプレッダー			1	1	1	3
	油圧スプレッダー			2			2
	マンホール救助器具			1			1
	マット型空気ジャッキ			1			1
切 断 用 器 具	大型油圧切断機			1	1	1	3
	油圧切断機			2			2
	ガス溶断器			1			1
	鉄線カッター			6	1	1	8
	エンジンカッター			3	1	1	5

器具	配置先	消防本部	中央消防署	中央消防署 東出張所	中央消防署 北出張所	合計
切器 断 用 具	チェーンソー		3	1	2	6
	空気鋸		1		1	2
	空気切断機		2	1	1	4
破 壊 用 器 具	万能斧		10	3	4	17
	携帯用コンクリート破壊器具		1	1		2
	ハンマドリル		1			1
	削岩機		1			1
測 定 器	有毒ガス測定器		6	1	1	8
	放射線測定器		9			9
	可燃性ガス測定器		4	1	1	6
	酸素濃度測定器		6	1	1	8
隊 員 保 護 用 器 具	耐電手袋		19	5	5	29
	耐電ズボン		5			5
	防毒マスク		19	3	3	25
	陽圧式化学防護服		12	6	6	24
	放射線防護服		3			3
	耐電衣		5			5
	耐電長靴		5			5
	携帯警報器		13			13
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）		10	8	3	21
	耐熱服		4	1	1	6
呼 用 吸 保 護 器	空気呼吸器		30	5	5	40
	酸素呼吸器		7		1	8
	防塵マスク		38	10	8	56
	送排風器		1			1
水 難 救 助 用 器 具	潜水器具		10			10
	水中投光器		5			5
	浮標		1			1
	船外機		2			2
	水中テレビカメラ		1			1
	救命胴衣		25	8	8	41
	救命浮環		4	1	1	6
	救助用ボート		2			2
そ の 他 の 器 具	登山器具		1			1
	ロープ登降機		4			4
	バスケット型担架		5	1	1	7
	簡易画像探索器		1			1
	熱画像直視装置		1			1
水中探索装置		1			1	

器具	配置先	配置先			合 計	
		消防本部	中央消防署	中央消防署 東出張所		中央消防署 北出張所
そ の 他 の 器 具	投光器		10	3	3	16
	携帯拡声器		16	2	2	20
	発電機		8	3	2	13
	応急処置用セット		1	1	1	3
	救助用降下器		1			1
	携帯用投光器		33	6	8	47
	携帯無線機 (デジタル)	1	10	3	3	17
	携帯無線機 (アナログ)	1	26	8	8	43

ホース保有状況

令和5年4月1日現在 単位：本

保有先 ホース径	中央消防署	中央消防署 東出張所	中央消防署 北出張所	合 計
65mm	147	74	74	295
50mm	120	50	50	220
合 計	267	124	124	515

消火薬剤備蓄状況

令和5年4月1日現在 単位：リットル

保管先	薬剤の区分	蛋白泡 (3%)	合成界面 活性剤	水溶性液体用泡 (6%)	合 計
		周 保 南 備 有 蓄 会 分	中 央 消 防 署		
	中央消防署東出張所		380		380
	中央消防署北出張所		340		340
	武 田 薬 品 (株)		4,640		4,640
	計		5,360	1,300	6,660
	中 央 消 防 署	280		400	680
	合 計	280	5,360	1,700	7,340

車両の配備

令和5年4月1日現在 単位：台

車両区分	配備先	配備先			合 計	
		消 防 本 部	中央消防署	中央消防署 東出張所		中央消防署 北出張所
消防ポンプ自動車			1	1	1	3
水槽付消防ポンプ自動車			2	1	1	4
屈折はしご自動車			1			1
化学消防車			1			1
救助工作車			1			1
高規格救急自動車			3	1	1	5
資機材搬送車	1					1
指揮車			1			1
広報車	1	1	1	1	1	4
上記以外の車両		3	2			5
合 計		5	13	4	4	26

※水槽付消防ポンプ自動車・高規格救急自動車は、非常用車両を含む。

車両の配備（詳細）

令和5年4月1日現在

配備先	車両呼称	区 分	車 両 メーカー	ポンプ 能 力	備 考
消防本部	光 11	資機材搬送車	いすゞ	—	
	光 13	広報車	スズキ	—	
	サンバー	乗用車	スバル	—	
	ノア	乗用車	トヨタ	—	
	セレナ	乗用車	日産	—	
中央消防署	光 1	小型動力ポンプ積載車	ダイハツ	B-3 級	
	光 2	消防ポンプ自動車	日野	A-1 級	
	光 3	水槽付消防ポンプ自動車	三菱ふそう	A-2 級	積載水量 1,500ℓ 非常用車両
	光 4	屈折はしご自動車	三菱ふそう	—	25m 級
	光 5	化学消防車	いすゞ	A-2 級	積載水量 2,500ℓ 積載薬液量 300ℓ
	光 7	救助工作車	日野	—	
	光 8	水槽付消防ポンプ自動車	三菱ふそう	A-1 級	積載水量 1,700ℓ
	光 14	広報車	トヨタ	—	
	光 15	指揮車	トヨタ	—	
	光救急 1	高規格救急自動車	トヨタ	—	
	光救急 3	高規格救急自動車	トヨタ	—	
	光救急 5	高規格救急自動車	トヨタ	—	非常用車両
		ボートトレーラー		—	光 15 にて牽引
中央出張所	光東 1	消防ポンプ自動車	日野	A-2 級	積載水量 600ℓ
	光東 2	水槽付消防ポンプ自動車	日野	B-2 級	積載水量 1,200ℓ
	光東 21	広報車	トヨタ	—	
	光救急 4	高規格救急自動車	トヨタ	—	
中央北出張所	光北 1	消防ポンプ自動車	日野	A-2 級	
	光北 2	水槽付消防ポンプ自動車	日野	A-1 級	積載水量 1,500ℓ
	光北 31	広報車	トヨタ	—	
	光救急 2	高規格救急自動車	トヨタ	—	

市町別公設水利設置状況

令和5年4月1日現在

市町	水利区分	消火栓			防火水槽				その他	合計
		地上	地下	合計	100t以上	40 t以上	40 t未満	合計	井戸・プール	
光市	浅江		208	208	2	19		21		229
	三井		53	53		13		13		66
	上・中島田		50	50		7		7		57
	島田		64	64	1	2		3	1	68
	光井		142	142	2	10		12		154
	室積		154	154	1	11		12		166
	牛島					1		1		1
	小周防・立野		49	49		12		12		61
	岩田	2	39	41		9	3	12		53
	三輪	3	35	38		8	2	10		48
	塩田		2	2		9	2	11		13
	束荷		5	5		11	4	15		20
	計	5	801	806	6	112	11	129	1	936
田布施町	上田布施		5	5		9	4	13		18
	下田布施		51	51		10	1	11	1	63
	宿井		11	11		7	4	11		22
	川西		7	7		5	1	6		13
	中央南		9	9						9
	波野	1	40	41		12	3	15		56
	大波野		7	7		6	7	13		20
	麻郷		88	88		10	9	19	1	108
	麻郷奥		13	13		3	1	4		17
	別府		5	5		4	1	5		10
	馬島					1		1		1
計	1	236	237		67	31	98	2	337	
周南市	大河内		45	45		14	3	17		62
	中村		10	10		3		3		13
	呼坂		48	48		23	13	36		84
	安田		21	21		9	2	11		32
	原		7	7		5	3	8		15
	樋口		8	8		5	3	8		16
	清尾		4	4			1	1		5
	小松原		9	9		4	9	13		22
	奥関屋					2		2		2
	八代					9	12	21		21
計		152	152		74	46	120		272	
合計	6	1,189	1,195	6	253	88	347	3	1,545	

通信指令編

災害受理状況

令和4年中 単位：回

通報区分 年・月別	火 災	救 急	救 助	その 他の 災害等	いた ずら	テ ス ト	通 報 訓 練	誤 報	医 療 機 関 問 合 せ	そ の 他	合 計
平成30年	47 (18)	4,034 (1,071)	38 (10)	73 (9)	9 (7)	350 (23)	326 (11)	285 (133)	150 (71)	749 (241)	6,061 (1,594)
令和元年	35 (21)	3,922 (1,274)	29 (14)	40 (12)	10 (5)	220 (21)	318 (11)	251 (127)	118 (63)	568 (239)	5,511 (1,787)
令和2年	28 (16)	3,549 (1,191)	36 (19)	53 (27)	11 (10)	150 (1)	235 (9)	233 (133)	58 (33)	613 (265)	4,966 (1,704)
令和3年	33 (19)	3,698 (1,307)	24 (9)	60 (20)	4 (4)	180 (8)	267 (7)	212 (129)	43 (26)	618 (245)	5,139 (1,774)
令和4年 1月	3 (3)	342 (112)	1	1 (1)		5	10	19 (10)	4 (3)	46 (19)	431 (148)
2月	4 (2)	275 (96)	1	3		7	12 (2)	13 (9)	3 (2)	43 (32)	361 (143)
3月	4 (2)	260 (95)	1 (1)	4 (2)	3 (3)	17	21 (1)	10 (8)	2 (1)	39 (26)	361 (139)
4月	2	312 (107)	1	7 (3)		15	21	8 (6)	10 (7)	46 (6)	422 (129)
5月	2 (1)	273 (98)	1	3 (3)	2	19	19	14 (6)	5 (3)	41 (22)	379 (133)
6月	2 (1)	321 (121)		4 (1)		14	27 (2)	14 (8)	8 (4)	42 (17)	432 (154)
7月		361 (147)	1	2		12	20	19 (11)	18 (15)	64 (29)	497 (202)
8月	2 (1)	385 (157)		8 (3)	2 (1)	9 (2)	9	16 (10)	16 (11)	70 (35)	517 (220)
9月		304 (121)	1 (1)	6		16 (1)	14	14 (7)	8 (2)	37 (22)	400 (154)
10月	6 (2)	309 (128)	4 (3)	4	1 (1)	18 (2)	24 (2)	12 (8)	5 (3)	59 (22)	442 (171)
11月	6 (3)	373 (149)	1	3 (2)		20	37	15 (6)	2 (1)	52 (25)	509 (186)
12月	4 (3)	371 (143)	1 (1)	7 (2)		7	17	16 (6)	13 (9)	65 (32)	501 (196)
合 計	35 (18)	3,886 (1,474)	13 (6)	52 (17)	8 (5)	159 (5)	231 (7)	170 (95)	94 (61)	604 (287)	5,252 (1,975)

※（ ）は携帯電話からの119番通報

有線通信施設

令和5年4月1日現在

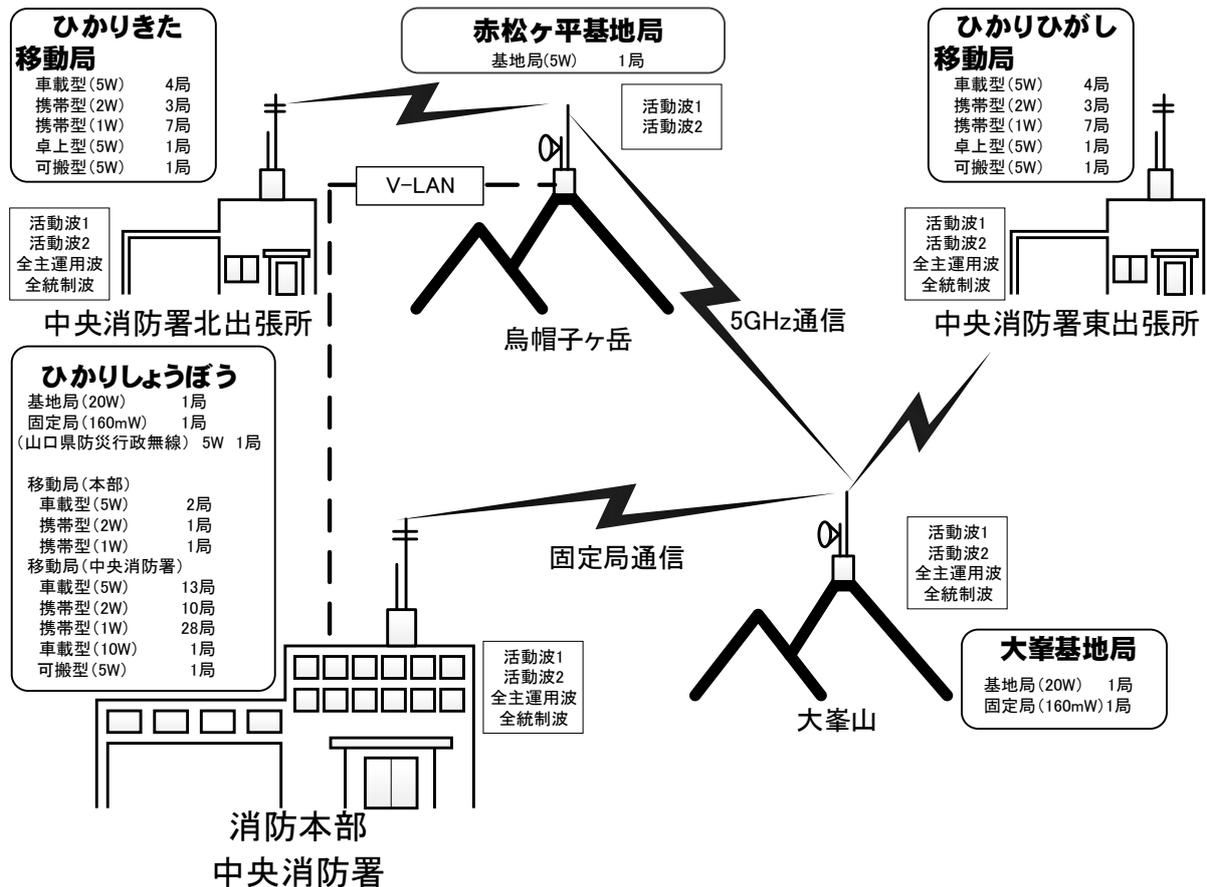
施設	区分	回線名称	回線数	備考
消防本部・中央消防署	加入電話	一般電話回線	5	ISDN (4回線 8チャンネル 9ダイヤル) アナログ (1回線 1チャンネル)
		順次指令回線	3	ISDN (3回線 6チャンネル)
		災害状況自動案内回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル)
		救急医療情報システム回線	1	山口県
		携帯電話	5	中央消防署 1台・警防課 1台・高規格救急自動車 3台
	専用回線	警察専用回線	1	
		光市役所回線 (専用)	2	庁内電話
		西日本高速道路株式会社専用回線	1	
		デジタル無線V-LAN回線	1	NTT ビジネスユーザー (消防本部-赤松ヶ平)
		統合型発信地回線	2	DA64 (A面、B面)
		指令回線専用線	1	光ファイバー 庁内 WEB、庁内内線、OA 兼用
		FOMA 専用線	1	車両運用端末装置通信用
		インターネット接続回線	2	光ファイバー (画像伝送、情報共有端末、OAメンテナンス)
		E-mail 119 E-mail 指令回線	1	光ファイバー
		NET119 専用回線	1	光ファイバー
	消防用通報電話	119番受付回線	2	ISDN (2回線 4チャンネル 18ダイヤル)
		ヘルプネット受付回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル 2ダイヤル)
		衛星回線	1	アナログ (119番受付回線予備)
		携帯電話 119番受付回線	2	ISDN (2回線 4チャンネル 6ダイヤル)
		携帯電話 119番転送回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル 2ダイヤル)
中央消防署東出張所	加入電話	一般電話回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル)
		FAX回線	1	ISDN (1回線 1チャンネル)
		携帯電話	2	高規格救急自動車 1台・署 1台
	専用回線	衛星電話	1	アナログ (119番受付回線予備)
		指令回線専用線	1	光ファイバー 庁内 WEB、庁内内線、OA 兼用
中央消防署北出張所	加入電話	一般電話回線	1	ISDN (1回線 2チャンネル)
		FAX回線	1	ISDN (1回線 1チャンネル)
		携帯電話	2	高規格救急自動車 1台・署 1台
	専用回線	衛星電話	1	アナログ (119番受付回線予備)
		指令回線専用線	1	光ファイバー 庁内 WEB、庁内内線、OA 兼用

無線通信施設

令和5年4月1日現在 単位：台

区分	無線局		基地局		固定局		移動局					合計	
	空中線電力		20W	5W	5W	160mW	車載	携帯	携帯	可搬	卓上		車載
消防本部			1			1	2	1	1				6
中央消防署							13	10	28	1		1	53
中央消防署東出張所							4	3	7	1	1		16
中央消防署北出張所							4	3	7	1	1		16
大峯基地局			1			1							2
赤松ヶ平基地局				1									1
山口県防災行政無線					1								1
合計			2	1	1	2	23	17	43	3	2	1	95

無線系統図



防災センター編

役割

防災への関心は平穏な暮らしの中で薄れがちであり、災害に対する備えは十分とはいえないのが現状です。防災センターは、一人でも多くの住民の防災意識を高めるため、平成15年4月に開館しました。

光地区消防組合の管轄内外を問わず、子供から大人まで住民の誰もが気軽に利用できる施設であり、防災における地域コミュニティの役割や防災全般の知識について学ぶことができます。

月別利用状況

令和4年中 単位：人（団体を除く。）

月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
区分	個人													
	団体				1		1	2		2	8	3		17
	合計				1		1	2		2	8	3		17
市町別	光市						44	14		4	180	30		272
	田布施町				29						46			75
	周南市							1			26			27
	管轄外						3	6				5		14
	合計				29		47	21		4	252	35		388
年齢区分別	幼児				26		1				86			113
	小・中学生						20	9		4	142	27		202
	高校生以上				3		26	12			24	8		74
	65歳以上													
	合計				29		47	21		4	252	35		388
年別	平成29年	1	48	38	40	352	299	102	113	83	1,965	284	111	3,436
	平成30年	21	45	7	59	252	275	57	382	151	5,543	342	102	7,236
	令和元年	35	55	96	68	184	440	159	135	53	1,188	408	55	2,876
	令和2年	4	51											55
	令和3年									25	117	102	36	280

利用団体内訳

令和4年中 単位：人

団体区分	幼稚園 保育所	小中学校	官公庁	企業	その他	合計
利用者数	127	193			68	388



【巻末の紹介】

令和4年5月26日、火災時における消火用水の確保に関する協定を民間事業者（4者）と締結しました。この協定により、消火用水が不足し、継続的な消火活動が困難と想定される木造建築物の密集地や山林での火災において、コンクリートミキサー車等による消火用水の給水支援を受け、被害の軽減につなげます。

令和5年8月発行

編集 **光地区消防組合
消防本部総務課**

〒743-0011

山口県光市光井六丁目16番1号

電話 0833-74-5601

FAX 0833-74-5611

E-mail soumu@119.city.hikari.lg.jp

URL <https://www.119.city.hikari.lg.jp/>